

単元名

わたしたちの生活と政治
～条例を制定する意義や意味とは？～令和6年7月3日～7月10日
男子18人 女子20人 計38人
6年1組教室

1 単元について

単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編（平成30年、以下「29年解説」とする）の内容(1)ア(イ)に基づく単元である。本単元「わたしたちの生活と政治」は、「わたしたちの願いを実現する政治」、「わたしたちのくらしと日本国憲法」の二つの小単元から構成されている。本単元では、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて理解する。その手掛かりとして、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを調べるようにする。

また、「29年解説」の内容の取扱いにおいて、本単元では、「国民としての政治への関わり方について多角的に考えて、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること」とあり、児童が多角的に考える手立てを講じる必要性が述べられている。よって、社会的な事象の意味について、様々な立場の考え方や願いを踏まえて多角的に考え、表現する力を育成することを目指して、この小単元を設定した。

児童観

本学級の児童は、社会科の学習に意欲的に取り組んでいる。学級アンケートの「社会科が好きだ」という項目に対して肯定的な回答をした児童は92%であり、社会の授業に意欲的に取り組んでいる児童は多い。

一方で、全国学力・学習状況調査質問紙（令和5年度実施）の「地域や社会をよくするために何かをしてみたい」の項目に「当てはまる」と回答した児童の割合は25.3%であり、社会への関心が低い。また、昨年度の社会科の単元末テストの観点別平均点は、「知識・技能」に関する問題が91点、「思考・判断・表現」に関する問題が85点であり、「知識・技能」については、概ね身に付いていると言えるが、「思考・判断・表現」にやや課題がある。単元学習後の振り返りの記述において、自らが感じたことや考えたことを基に記述することはできるが、様々な立場の考え方を踏まえて記述することが苦手な児童が多い。つまり、多角的に考えることに苦手意識をもっている児童が多くいる。

指導観

本単元では、社会的な事象の意味を多角的に考える力を育成することを目指す。そのために、三つの手立てを講じていきたい。

手立ての一つ目は、身近で様々な立場で考えることのできる「社会の課題」を設定することである。ここでは、「社会の課題」を「社会において生じている立場の違いによって判断や解決策が分かれるような、解決が容易ではない問題」と定義する。社会の課題として、「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」を取り上げて単元を構成していく。この条例を取り上げる理由は二点ある。一点目は、ゲームやインターネットは、児童にとって身近なものであり、日常生活の中であまり馴染みのない「条例」について考えやすくなると考えたからである。二点目は、様々な立場の多様な考えに気付くことに適していると考えたからである。この条例については、様々な立場の人が多様な考えを述べている。また同じ立場の中にも、賛成的な意見、否定的な意見、中立的な意見がある。この様々な考え方を踏まえて、思考を働かせれば、「個人」と「社会」を往還させ、社会的な事象の意味を多角的に考える力を育成することができる。と考えた。

手立ての二つ目は、「討論的な活動」を設定することである。「討論的な活動」とは、児童が様々な立場に立ち、それぞれの立場から見た良さや課題を出し合うことを通して、様々な立場の考え方に気付き、自分自身の考えの根拠とすることを目的とした議論の手法である。具体的には、「どうすればより多くの人が納得するようなネット・ゲーム依存症対策条例になるだろうか。」という問いについて、本時で学習する五つの立場に立ち、その立場で出た多様な意見を基に、より良い提案をグループで考えさせる。

手立ての三つ目は、「三度の意思決定場面」を設定することである。条例について学習した場面、調べ学習を通して学習者自身とは異なる立場の人々の考え方について学習した場面、討論的な活動を終えた場面で、条例に対する自分の考えを表現させる。一度目と二度目の意思決定場面では、「この条例に対してあなたはどうか考えるのか。」という問いを、三度目の意思決定場面では、「自分だったらより多くの人が納得するような条例にするためにどのような提案をするのか。」という問いに対する自分の考えを表現させる。これにより、学習者の考えを表現する際の根拠が広まっていくことを目指す。三度目の意思決定場面では、学習者自身の考え方と、様々な立場の人々の多様な考え方を比較・分類したり、統合したりすることを目指す。

これらの手立てを講じることで、社会的な事象の意味を多角的に考える力を育成することを目指していく。

2 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解することができる。(知識及び技能)
- 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することができる。(思考力、判断力、表現力等)
- 我が国の政治の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしてすることができる。(学びに向かう力、人間性等)

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。	政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現している。	我が国の政治の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

3 指導計画 (全8時間)

次	時	ねらい	問い	資料	評価規準 (評価方法) 【評価の観点】
一	1	①条例に関する学習に対する意欲をもつことができるようにする。 ②「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」について知り、条例に対する自分の考えを表現する。【第一次意思決定】	①全国にはどんなユニークな条例があるのだろうか。 ②「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」についてどのように考えますか。	・①新潟県阿賀町「ごつつお条例」(条例の写真) ・①和歌山県みなべ市「梅干しでおにぎり条例」(条例の写真) ・①愛知県東海市「トマトで健康づくり条例」(ポスター) ・②「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」の全文	①全国のユニークな条例について知ることを通して、条例に関する学習への意欲をもっている。(振り返り)【主体的に学習に取り組む態度】 ②「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」に対する自分の考えを表現している。(意思決定シート)【思考・判断・表現】
単元を貫く問い どうすればより多くの人が納得するような「条例」となるのだろうか。					
二	2	「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」が制定された背景や目的について理解できるようにする。	なぜ香川県は、「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」を制定したのだろうか。	・「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」(全文) ・「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」(前文・第1条を分かりやすい言葉に修正したもの)	「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」が制定された背景や目的について理解している。(ワークシート①)【知識・技能】
	3	「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」に対する様々な立場の人の考え方について理解する。	香川県の議員、医療関係者、学校関係者、保護者、利用者の立場の人々は、条例に対してどのように考えているのだろうか。	・議員の発言の文章資料(「ルポ ゲーム条例 なぜゲームが狙われるのか」を基に作成) ・医療関係者の発言の文章資料(四国新聞、インターネット記事を基に作成) ・学校関係者の発言の文章資料(朝日新聞の記事、香川県で働く教員への聞き取りを基に作成) ・保護者、利用者の発言の文章資料(香川県への条例に対するパブリックコメントを	「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」に対する様々な立場の人の考え方について理解している。(ワークシート②)【知識・技能】

	4	広島県でも「ネット・ゲーム依存症対策条例」が制定されたとした場合の、様々な立場の人の考え方について理解する。	広島県でも同じ条例が制定されたとしたら広島県の議員、医療関係者、学校関係者、保護者、利用者の立場の人々は、条例に対してどのように考えているのだろうか。	基に作成) ・議員の発言の文章資料(呉市議会議員への聞き取りを基に作成) ・医療関係者の発言の文章資料(広島県の看護師への聞き取りを基に作成) ・担任が条例に対する考えを語る ・児童自身が保護者にインタビューして記述したメモ	広島県でも「ネット・ゲーム依存症対策条例」が制定されたとした場合の、様々な立場の人の考え方について理解している。(ワークシート③)【知識・技能】
	5	「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」について自分の考えを表現する。【第二次意思決定】	様々な立場の多様な考えを踏まえた上で、香川県の条例に対してどのように考えるか。	・これまで児童自身が記入してきたワークシート①～③	「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」について、様々な立場の多様な考えを踏まえながら自分の考えを表現している。(意思決定シート)【思考・判断・表現】
三	6 (本時)	グループでの話し合いを通して、「ネット・ゲーム依存症対策条例」をより多くの人に納得してもらえようような提案を考える。	どのようにすれば、より多くの人が納得する「ネット・ゲーム依存症対策条例」になるのだろうか。	・これまでに調べ学習でまとめた様々な立場の多様な考え方 ・これまで児童自身が記入してきたワークシート①～③	①我が国の政治の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考えようとしたりしている。(行動観察、振り返り)【主体的に学習に取り組む態度】 ②「ネット・ゲーム依存症対策条例」をより多くの人に納得してもらえようような提案を考えている。(行動観察、振り返り)【思考・判断・表現】
	7	他のグループからの質問や意見を基に、自分たちの提案を再考する。	より多くの人が納得するためには、どうすればよいのだろうか。	・これまでに調べ学習でまとめた様々な立場の多様な考え方 ・他のグループからの質問や意見のメモ	①我が国の政治の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考えようとしたりしている。(行動観察、振り返り)【主体的に学習に取り組む態度】 ②「ネット・ゲーム依存症対策条例」をより多くの人に納得してもらえようような提案を考えている。(行動観察、振り返り)【思考・判断・表現】
四	8	これまでの学習を踏まえ、より多くの人が納得する「ネット・ゲーム依存症対策条例」にするための提案を表現する。【第三次意思決定】	自分だったらより多くの人が納得するような「ネット・ゲーム依存症対策条例」にするためにどのような提案をするのか。	・これまで活用したすべての資料	①我が国の政治の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考えようとしたりしている。(行動観察、振り返り)【主体的に学習に取り組む態度】 ②「ネット・ゲーム依存症対策条例」をより多くの人に納得してもらえようような提案を考えている。(意思決定シート)【思考・判断・表現】

4 本時の展開（本時 6／8）

（1） 本時の目標

これまでに学習した香川県、広島県の「議員」、「医療関係者」、「学校関係者」、「保護者」、「利用者」の立場の人々の考え方を基に、グループで話し合い、「ネット・ゲーム依存症対策条例」をより多くの人に納得してもらえるような提案を考える。

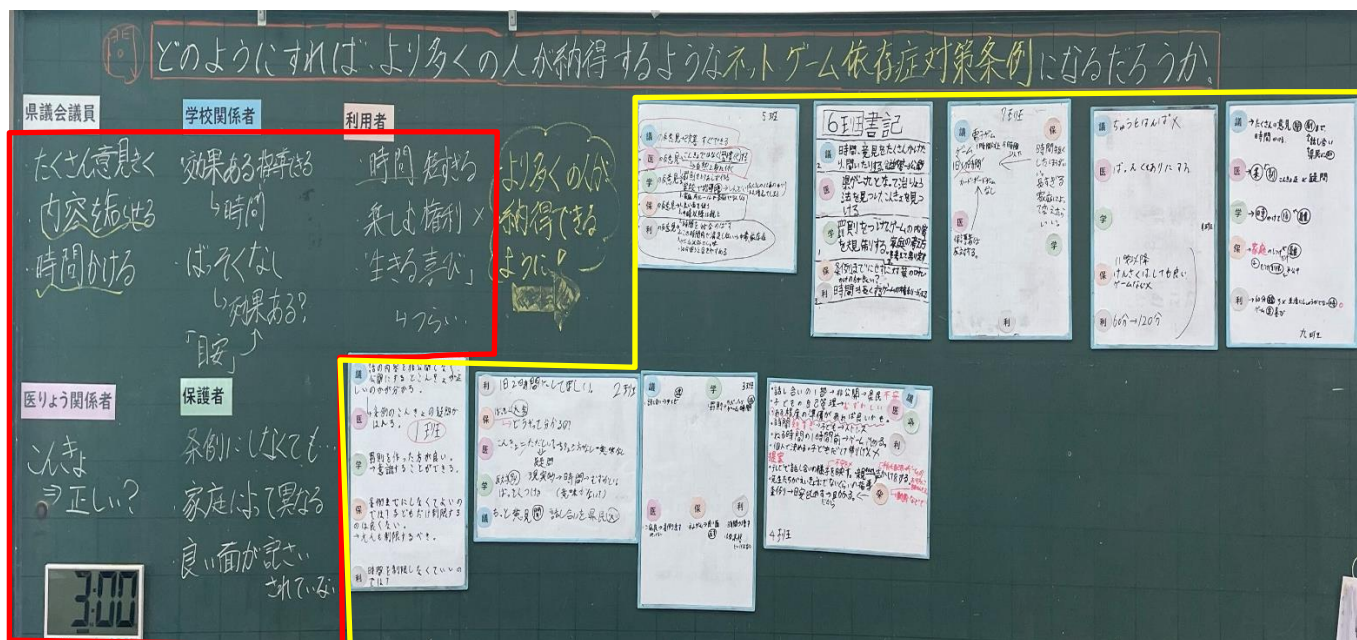
【資質・能力／思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等】

（2） 本時の展開

	学習活動	○指導上の留意点 ◇配慮が必要な児童への手立て	資料	評価規準【観点】（評価方法）
出会う・つかむ	1 これまでの学習を振り返る。	○ 条例を制定する意義や目的、「ネット・ゲーム依存症対策条例」に対して様々な立場の多様な考えがあることを振り返ることを振り返ることで、本時の学習にこれまでの学びを活用することができるようにする。	・既習事項を確認するための前時までの授業スライド	
	2 本時のめあてを確認する。	○ 広島県でも「ネット・ゲーム依存症」に対する取組が必要であるという考えがあること、県民を守るためにより良い条例を制定しなければならないことを捉えさせる。	・令和6年 広島県依存症対策推進計画	
	めあて どのようにすればより多くの人々が納得するような「ネット・ゲーム依存症対策条例」になるだろうか。			
考える・深める	3 討論的な活動の設定を確認する。	○ 討論的な活動の方法や目的を児童に伝えることで、様々な立場の多様な考え方を踏まえてより多くの人々が納得するような提案をグループで考えることができるようにする。		
	4 各立場で出ている様々な意見を再確認することで、条例に対する意見を整理する。	討論的な活動の設定 ・グループは5人編成で、この話し合いは「条例制定検討会」として、それぞれが「議員」「医療関係者」「学校関係者」「保護者」「利用者」の立場の代表者として、話し合いの場に呼ばれている。 ・それぞれの立場の意見を代表者として出し合い、それらを踏まえてどうすればより多くの人々が納得してくれるような条例になるのか考えることが目的。 ◇ どの立場の代表者になるのかについては、基本的にはグループで自由に決めてよいが、社会科の学習や対話に苦手意識をもつ児童には「保護者」や「利用者」を担当するように声かけをする。これらは児童にとって身近であり、比較的思考を理解しやすい立場であるため。 ○ 様々な立場から多様な意見があることを再確認し、肯定的意見、否定的意見を統合し、より多くの人々が納得する提案を考える際の思考を焦点化させるようにする。	・ワークシート①～③	

考える・深める	5 より多くの人が納得する条例にするにはどうすればよいかグループで話し合い、提案を考える。	○ 様々な立場の多様な意見から根拠にする考え方や、意見に対してどのように対応して納得してもらえるようにするか話し合わせることで、自分たちの考えと様々な立場の人々の考えを比較・分類し、葛藤しながら提案することができるようにする。 ◇ 司会、ホワイトボード記録係、提案記入係、タブレット係、発表係などを教師が意図的に設定することで、苦手意識をもつ児童にも役割を与えることで、授業における居場所を感じられるようにする。		・我が国の政治の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考えようとしていたりしている。【主体的に学習に取り組む態度】 ・「ネット・ゲーム依存症対策条例」をより多くの人に納得してもらええるような提案を考えている。(ホワイトボード)【思考・判断・表現】
まとめる・つなげる	6 提案を全体共有し、提案に対する質問や意見を出す。	○ 提案に対する質問や意見を出させることで、次時により多くの人が納得する提案を再考することができるようにする。		
	7 本時の学習を振り返る。	○ 本時の学習を振り返ることで、本時での学びをメタ認知したり、次時の学習に学びの意識をつないだりすることができるようにする。		
	振り返りの例 ・今日の授業では、自分が担当した立場以外の人々の考え方を知ることができたし、たくさんある意見をもとに、グループで話し合いながら多くの人が納得する提案をすることができた。提案に対して質問や意見がたくさん出たので、それをもとにさらに良い提案を次の時間に考えたい。			

5 板書計画



条例に対する様々な立場
からの意見

それぞれの班の提案を考える際に
記入したホワイトボード

6 使用したワークシート

【意思決定シート】

意思決定シート～こんきよの深まりを確かめよう～

6年()組 名前 ()

香川県のゲーム条例についてあなたの考えを述べましょう。

【1回目】 ここは最後に書くのであけておいてね!

○ゲーム条例についてどのように考えたか書きましょう。

【2回目】 ここは最後に書くのであけておいてね!

○ゲーム条例についてどのように考えているか書きましょう。

【3回目】 ここは最後に書くのであけておいてね!

○あなたは、広島県でネット・ゲーム依存症対策条例を制定するかどうかの会議に参加するとしたらどのような案を提案しますか。これまでの授業で学んだ様々な立場の人の考えを踏まえて、より多くの人が納得する案を提案してみよう!

【ワークシート①】

わたしたちの生活と政治～ゲーム条例～ 1時間目

6年()組()番 名前()

問題

○ゲーム条例の目的がかかれた所に赤、背景がかかれたところに青で線を引いてみよう。

香川県ネット・ゲーム依存症対策条例(言葉を分かりやすくしたもの)

インターネットやコンピュータゲームの使い過ぎは、子ども(18歳未満)の体力の低下だけでなく、引きこもりや学習障害、視力障害などの身体的な問題まで引き起こすと言われている。世界保健機関において「ゲーム障害」が国際的な病気であると認定された。特にオンラインゲームには終わりがなく、大人よりも理性をおさえる脳の働きが弱い子どもが依存状態になると、抜け出すことが困難になると言われている。

その対策として、国が、早急に法を整備したり医療の提供を充実させたりする必要があるが、県としても、適切な医療を提供できる人材を育成していくことが求められる。

(中略)

ここに、本県の子どもたちをはじめ、県民をネット・ゲーム依存症からまもるための対策を推進していくために、この条例を制定する。

(第1条)

この条例は、ネット・ゲーム依存症対策の推進についての、基本的な考え方を定め、県や学校等、保護者のすべきことを明らかにするとともに、ネット・ゲーム依存症対策に関する基本的方向性を定めることでネット・ゲーム依存症対策を進めていくことで、次代を担う子どもたちの健全な成長と、県民が健全に暮らすことのできる社会の実現につなげていくことを目的とする。

目的

背景

…社会をより良くするために国が国民に守るように示したルールのこと。

…都道府県や市町村が地域ごとの人々の願いを実現するために示したルールのこと。

○だれがどこで話し合って条例をつくっていくのだろうか。

県民による **で選ばれた** **が、県民の代表として県の税金や予算、条例などを話し合って決定するところが** **です。**

○ネット・ゲーム依存症の対策をしていくためにどのような立場の人が関わるのだろうか？

まとめ

【ワークシート②】

わたしたちの生活と政治～ゲーム条例～ 2時間目

6年()組()番 名前()

問題

学習の流れ①

- ①班で「議員」「医りよう関係者」「学校関係者」「保護者」「利用者」どの立場の意見について調べるのか話し合って決めよう。
- ②自分の担当になった立場の意見について、ロイロノートに送った資料を読んでみよう。
- ③大事だと思ったところに線を引こう。
- ④大事なところをワークシートにまとめよう。

自分の調べる立場…()

学習の流れ②

○他の立場の意見について班で交流して、まとめよう。

()	()
()	()

学習の流れ③

○なぜ香川県のこの条例はあまり効果がなかったのだろうか？

【ワークシート③】

わたしたちの生活と政治～ゲーム条例～ 3時間目

6年()組()番 名前()

問題

○広島県の「議員」はネット・ゲーム条例についてどのような意見を述べていますか？班で交流してまとめよう。

(議員)の意見

○広島県の「医療関係者」はネット・ゲーム条例についてどのような意見を述べていますか？班で交流してまとめよう。

(医療関係者)の意見

○広島県の「学校関係者」はネット・ゲーム条例についてどのような意見を述べていますか？

(学校関係者)の意見

より多くの人が納得するためには、どのようなネット・ゲーム依存症対策条例にすればよいだろうか。

①(利用者)の意見の中の、条例の課題に関わる意見

②()の意見の中の、条例の課題に関わる意見